

株式会社歯愛メデイカルが 能美市に進出

医療機関向けの通信販売を手掛ける株式会社歯愛メデイカル（白山市）が、福島グランパークへの進出を表明し、12月10日に同社の清水清人社長らが来庁され、進出表明式が行われました。

感染症予防用品をはじめ、衛生材料や医療材料などの医療現場に必要な製品・部素材の円滑な供給を確保し、国内サプライチェーンの強靱化を図ることを目的とした大規模物流施設を構築するものであり、有事における日本海側のハブセンターとしての役割が期待されます。

新拠点には本社機能の移転も計画されており、令和3年6月の着工、令和5年2月の稼働を予定しています。



歯愛メデイカル進出予定地

株式会社八幡が能美市に出店

飲食店チェーンの株式会社八幡（羽咋市）が、能美根上スマートIC前に「すしべん」新店舗の出店を決定し、12月7日に同社の久保圭子社長らが来庁され、進出表明式が行われました。

久保社長は「コロナ禍において飲食店は厳しい状況が続いているが、今回の出店が社員にとっての希望となるよう頑張りたい」と述べられました。

すしべん新店舗の開店は令和3年4月を予定しています。



株式会社八幡の久保社長（左）と井出市長



すしべん新店舗（イメージ）

石川日野自動車株式会社が 能美市に進出

日野自動車製トラック・バスの販売、修理を手掛ける石川日野自動車株式会社（金沢市）が、加賀地域における拠点強化のため、福島グランパークへの進出を決定しました。

12月10日に同社の小林洋社長らが市役所を訪れ「素晴らしい立地環境の中で、より良いサービスを提供していきたい」と、進出の意向を述べられました。



石川日野自動車株式会社の小林社長（左）と井出市長

辻富三氏が旭日単光章を受章

辻富三さん（灯台笹町）は、辰口町議会議員を4期16年の長きにわたり務められ、その間、地域の発展に尽力し、辰口町議会副議長も務められました。

この功績を称え、高齢者叙勲として、12月1日に「旭日単光章」を受章されました。

除雪グレーダ納車式と 能美市道路除雪対策会議を開催

11月26日、除雪グレーダの納車を寺井体育館駐車場で行いました。見学に訪れた寺井小学校5年生約30人は、除雪時に活躍する車両、除雪作業の注意事項などを学習したのち、井出市長、来賓とともに

新しいグレーダの車両点検を行いました。納車式後、能美市道路除雪対策会議を開催し、除雪受託者52社の方々に除雪作業時の注意事項などを説明しました。



寺井小学校5年生の皆さん（ドローンによる撮影）



能美市道路除雪対策会議の様子

祝百寿 本多さん おめでと〜うございます

11月19日、本多廣さん（寺井町）がめでたく100歳を迎えられ、ご本人は入院中のため、ご家族にお祝い状と記念品が贈呈されました。

戦時中にシベリア抑留兵として強制労働を粗食で耐え抜き、日本に帰還できたことが自慢で、戦後は米作り一筋で働いたそうです。若い頃の楽しみは川魚を捕ること、少し前までは自宅でカラオケを楽しんでいました。今は、ひ孫の成長を楽しみに過ごされています。



本多さん

祝百寿 山田さん おめでと〜うございます

11月30日、山田壽子さん（来丸町）がめでたく100歳を迎えられ、井出市長からお祝い状と記念品が贈呈されました。

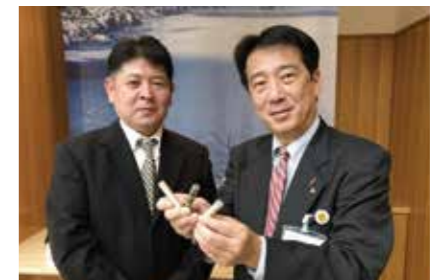
山田さんは、食事はなんでも好き嫌いなく食べ、お刺身が好物だそうです。若い頃から警察官の妻としてご家族を支えてこられました。贈呈当日には玄孫まで5代にわたるご家族に囲まれて、「長生きの秘訣はあまり考えないこと、皆さんのおかげです」とお話しされ、贈られたお花を見て嬉しそうにされていました。



山田さんご家族と井出市長

本多商店が「九谷彩印クタニサイン」完成を報告

九谷焼販売店である本多商店の本多陽一さんが12月4日、市役所を訪れ、新商品「九谷彩印クタニサイン」の完成を報告しました。
高密度セラミックに九谷焼の技法を取り入れたはんことしては全国初の製品です。
本多さんは「はんこ文化を守りたい」と話し、井出市長は「円筒状の物に緻密な絵付けができることに、九谷焼の技術の高さを改めて感じた。これを機に全国へ九谷焼の魅力を発信してもらいたい」と激励しました。



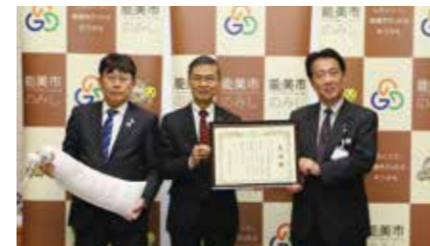
本多さん（左）と井出市長

4町会・町内会に土のう200袋を配布

12月8日、小松マテレー株式会社から地域の防災対策のために、新商品である「グリーンビズドのう」200袋が寄附されました。道路が冠水したことがある寺井町、下ノ江町、福島町、大成町の4町会・町内会に50袋ずつ配布しました。
12月16日には、市役所で感謝状贈呈式が行



小松マテレー株式会社の土田辰郎総務部長から米脇強寺井町会長に手渡されました。



左から奥谷晃宏理事、佐々木社長、井出市長

われ、井出市長が同社の佐々木久衛代表取締役

役社長へ感謝状を手渡しました。

人権擁護委員が保育園を訪問しました

小松人権擁護委員協議会能美部会の人権擁護委員が市内保育園を訪問し、人権への理解を深めてもらうために、園児に人権啓発の折り紙を配布しました。

12月4日、粟生保育園では、年長の園児たちが人権擁護委員を出迎え、全園児分のたくさんの折り紙を驚きの様子で受け取り、訪問した人権擁護委員へお礼を伝えました。



人権擁護委員から折り紙が贈られました

「就職ウェブセミナー」を開催

12月10日、寺井高校生を対象に能美市内企業について学ぶ「就職ウェブセミナー」が開催されました。これはコロナ禍でセミナーや企業訪問の機会が少なくなる中、生徒が能美市にある企業を知り、関心を高める機会として企画されたものです。当日は寺井高校と能美市役所をオンラインで結び、市内企業9社の事業内容や働き方について理解を深めました。



企業の採用担当者の説明を聞く寺井高校生

災害時応援協定を締結しました

11月11日、能美市はNPO法人ボランティア・アーキテクト・ネットワークおよび小松マテレー株式会社と簡易間仕切りの供給に関する協定を締結しました。新型コロナウイルス感染症により、避難所内での感染拡大防止対策が重要な避難者スペースづくりが可能となります。

調印式では、災害時に供給されるカーテンパーテーションが展示され、井出市長が実際に使用感を確認しました。
また、12月10日、ポータブル電

源等の製造・販売を手掛けるアンカー・ジャパン株式会社の井戸義経代表取締役が市役所を訪れ、市と災害時における電源確保や充電環境の整備に関する協定を締結しました。災害時には、ノートパソコンや携帯端末などの情報収集・発信ツールの重要性が高まるため、本協定により、特に災害初期の応急的な電源確保を円滑に行うことが可能となります。
調印式に併せて、防災用の電源セットおよびポータブル電源が同社から寄贈され、井出市長が感謝状を贈呈しました。

第14回能美市ファミリーコンサートを開催

11月29日、根上総合文化会館で第14回能美市ファミリーコンサートが開催され、オーケストラ・アンサンブル金沢とゲストに能美市出身、K・BALLET COMPANY バレエダンサーで能美市観光大使の山本雅也さんが出演しました。そのほかバレエダンサーのK・BALLET COMPANY 成田紗弥さん、山本さんが以前に所属されていた能美市の横倉明子バレエ教室の皆さまも出演され、華やかなステージとなりました。



公演内容の一部がオーケストラ・アンサンブル金沢公式YouTubeチャンネルで公開されています。ぜひご覧ください。

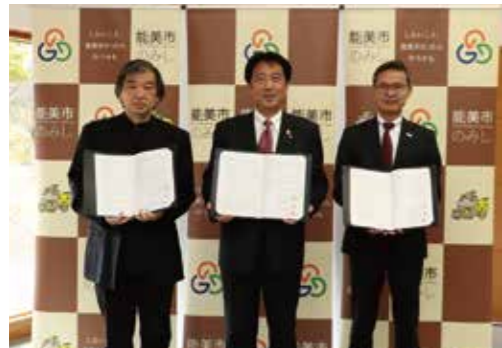
「我が子を守る防災講座」開催

12月9日、子育て中のママを対象に、子育て支援センターで防災講座を開催しました。

講師のアウトドア防災ガイド、あんどうりすさんが、被災時の防寒防暑対策、ミルク、母乳の与え方、家具の固定要領、アプリの活用、ベビーカーでの避難要領、さらしのおんぶ、いつものバックに工夫など、子育て中のママに役立つ情報を伝授しました。参加者からは、「知らないことがたくさんあり、さっそく実践したい」と、大変好評でした。



アウトドアの知識の生かし、防災に役立つ術をママたちに伝授するあんどうさん（左）



左からNPO法人 ボランティア・アーキテクト・ネットワーク 坂茂代表理事、井出市長、小松マテレー株式会社 佐々木久衛代表取締役社長



アンカー・ジャパン株式会社の井戸代表取締役（左）と井出市長

根上中学校の夜間照明施設がLED照明に改修されました

夜間照明施設の改修工事を行っていた根上中学校グラウンドの工事が完了し、利用が可能となりました。

照明施設は既存の6基に2基新設され合計で8基となりました。今回2基新設されたことでグラウンド全面を照らせるようになり、多種目での利用がしやすくなりました。照明器具には二酸化炭素削減による地球温暖化対策として、LED灯具を設置することで、環境に配慮しているとともに、従来の水銀灯より明るく感じます。

照明施設改修工事費、設計・監理費を含めた総事業費は4千664万1800円で、独立行政法人日本スポーツ振興センター助成事業として実施しており、同センターより助成金1千600万円（内定額）が交付されます。



根上中学校のグラウンド



※日本スポーツ振興センターは文部科学省の指導監督のもと、スポーツくじの運営・販売を行っており、スポーツくじの売上金の一部を財源として、地方公共団体やスポーツ団体等のスポーツの振興を目的とする事業に対し助成を行っています。

▶ 予約・施設利用についての問い合わせ先
能美市根上体育館 (☎ 55-2896 ㊚ 55-2899)

金沢学院大学「第3回企業訪問ツアー」開催

市内企業の研究とキャリア形成の機会提供として、金沢学院大学生を対象に「第3回 KnowMe 能美ツアー」金沢学院大学「能美の魅力、発見ツアー」を開催しました。

11月6日、奥井めぐみ教授ゼミの経営情報学部3年生11人が、ローラ国

内トップシエアを誇る株式会社東振精機を訪問し、業務内容の説明を受けたあと、実際の製造現場を見学しました。

参加した学生は、同社で製造されているローラを実際に手に取り、どんなところに使用されているかの説明などを受け、企業への理解を深めていました。



訪問の様子

寺井高校生が模擬議会議を体験しました

12月15日、能美市議会との意見交換会として、寺井高校3年生18人が議場で模擬議会議を体験しました。

模擬議会議では、一般質問形式で高校生が市政一般に対する質問を行い、その質問に対して、市長や教育長、議員が答弁しました。

質問では、環境問題やまちづくりなど多岐にわた

たる分野から、高校生らしい視点で要望や提案が行われました。

また、答弁を受けて、高校生からは「地域の環境や生態系を守るために、3Rなどを意識していきたい」「能美ならではの素敵な場所がたくさんあることを改めて知ることができた」「自分も能美市に貢献できるように頑張りたい」などの所感が述べられました。



今年度初の意見交換会となりました